JFEトンボみち ファンクラブ通信

2015年3月号

【連載6】トンボ百科 ~ あなたもいよいよトンボ博士? ~

今回はトンボの結婚について、トンボ博士がズバリお答えします。

4トンボの結婚

Q1. トンボの連結とは何か?

トンボらしい行動の一つに連結がある。このスタイルは通常、「タンテム」と二人こぎ用の自転車と同じ名で呼ばれる。必ず前の個体が雄で、その雄が尻先の把握器でメスの首元を挟み、連結態が形成されている。 交尾は連結態となって後、雌の腹部が下から前に曲げられて全体がハート形となり完成する。 交尾を終えると、種類によってははじめの連結態に戻ったまま分離せず、その姿で産卵へ移行する。 これがしばしばトンボで目にする連結産卵だ。 雄と雌の共同作業だと思われがちだが、 瀕死の雌との連結産卵が観察されたり、常に雄の体温が雌より高いことから、 雄主動で行われていると考えられている。

Q2. トンボはなぜ連結して産卵するか?

一般に昆虫では、交尾後、精子は雌の体内に移りしばらく生き続け、卵の産下の際にはじめて受精に使われる。つまり、雄にとって交尾イコール受精ではないのである。しかも、一度交尾した雌に後から別の雄が交尾すると、前の雄の精子が掻き出されてしまうことがわかった。つまり、後から交尾した雄の精子が受精することになる。雄は交尾さえすれば相手の雌が自分の子を産んでくれるというわけにはいかないのだ。だから、雄は自身の精子の受精を確実なものとするために、交尾後、その雌が産卵するまで他の雄からガードしなければならない。これが多くのトンボで雄がなりばりを張ったりする理由で、その究極の姿が連結産卵なのだ。



(文責:田口正男農学博士)

※この「トンボ百科」は、横浜市環境保全協議会 発行の「かんきょう横浜」から転載しています。

来年度のファンクラブ活動について

3月28日の月例活動日に、来年度の活動予定について、皆さんのご意見、ご感想を伺います。また、同時に活動予定以外についても、自由に話し合いを行ないたいと思いますので、よろしくお願いします。(事務局)

トンボはドコまで飛ぶかフォーラム報告会

~3月29日トレッサ横浜で開催~

今年の報告会は、「横浜水辺と緑を考える子ども会議」と同時開催されます。子ども会議とは、環境問題や生きものの大切さなどを、子どもたち自身が会議を進行して話し合うもので、今回で29回目になります。

【プログラム】

10:00~12:00

横浜の水辺と緑を考える子ども会議

二ツ池の公園整備方法が今回のテーマです。

13:30~14:30

トンボフォーラム報告会

トンボ博士と舞岡中学校の生徒が報告します。

13:30~15:00

ワークショップ

活動団体ごとの楽しい展示で一スです。

トンボフォーラムのスースには私たちのヤゴたちも参加します。

【会場】

トレッサ横浜 (横浜市港北区師岡町700)



[シリーズ] トンボみちの 仲間たち

2月28日(土)のファンクラフ活動の様子です。 (撮影:山田さん)















活動予定 ※雨天は1週間延期

今月: 3月28日(土) 10時~12時 来月: 4月25日(土) 8時~10時 事前の申込みは不要です。誰でも参加可能!

公式ホームページをご覧ください

トンポみちファンクラブ

Q検索

JFEトンボみち ファンクラブ通信 2015年3月号

発行日: 2015年3月25日

発行者: トンボみちファンクラブ通信事務局

事務局:〒230-8611 横浜市鶴見区末広町2-1

JFEエンジニアリング(株)総務部 施設管理室 Tel045-505-7447、Fax045-505-6546

ファンクラブ通信への自由投稿をお待ちしています。



京浜の森口ゴマーク